

国際交流学科履修系統図(2018年度入学)

育成人材像

英語力と日本語コミュニケーション能力を身につけ、国内外の国際的な場で活躍できる人材の育成を目指しています。「英語を学ぶ」だけでなく、「英語で学ぶ」ことを通して、実践的な英語力とコミュニケーション能力を養成していきます。

育成能力

読む・書く・話す・聞くの四技能を基礎から上級まで学ぶことで、実践的な英語力を身につける。特に、1年次に集中的に学び、グローバル教育の基礎とする。

これからの情報社会で必要とされるパソコンやインターネットなどに関する知識と技能を修得し、実務能力を養う。

日本の文化と社会、歴史をグローバル化社会という観点から捉えなおし、人文学を学ぶことの意義を明確にしなが、国際的な教養を身につける。

1・2年次は大学での学習に必要なスキルと社会人となるための基礎力を身につける。3年次からは専門的な知識を学び、自ら学び、発信する能力を養う。

英語以外の諸言語を第二外国語として学び、そのコミュニケーション能力を身につける。そして、その言語が用いられている地域の文化と社会、国際関係等を学び、その地域を総合的に理解する力を育成する。

国際教養として国内外の政治・経済・法律等を学び、日本とグローバル化社会の社会的基礎を身につける。

国際交流と協力の理論と方法、歴史を学び、開発と協力を行う組織についても学ぶことで、国内外でアドミニストレーターとして活動するための能力を育成する。

言語学、英語と日本語の知識と教育、その関連領域を学び、言語を用いる専門技能と教育の場における実践力を育成する。また、母語や外国語による個人間のコミュニケーションとマスコミュニケーションを捉えなおしながら、異文化間コミュニケーションの基礎能力を育成する。

英語で学び、英語で発信するスキルを身につけ、より高度な実践的な英語力を育成する。

海外研修によって外国語でのコミュニケーションとその地域の文化と社会を体験し、自らの視野を広げる。3年次からは専門的な知識を学び、自ら学び、発信する能力を養う。

